

白鷹学講座。パート2 「田勢康弘氏 講演会」を開催

平成28年度の第2回目の白鷹学講座は8月3日、町産業センターで開催されました。

この日は、ジャーナリストであり、町観光交流大使としても活躍されている田勢康弘氏が「白鷹人（ひと）へのメッセージ 白鷹中学校で伝えたかったこと」と題して講演。初めに、田勢さんによって作詞された白鷹中学校校歌「友よ」が、町の風景と中学生の活動写



現代の若者と社会に対して、熱のこもった話をする田勢康弘さん

真とともに流されると、会場に集まった約1000人の参加者は静かに聞き入りました。続いて、荒砥中学校時代の自分を思い出しながら詞を書いたことや、英語のフレーズを入れたかったことなど、校歌制作の裏側に政治・経済の話を交え、白鷹町の若者に対する熱い思いを語られた田勢さん。最後に「白鷹町民が生き生きと暮らしていけるまちづくりに対して、これからいろいろなと協力させていただきます」と話されました。

今回の白鷹学講座（パート4）は、筑波大学名誉教授の門脇厚司氏を講師に迎え、11月26日に町産業センターで開催予定です。

※白鷹学講座パート3は、8月15日に成人式に合わせて開催されました。（2〜3頁に関連記事）

SHIRATAKA RED

日本の紅（あか）をつくる町 今年も紅花生産日本一

8月24日、県産紅花加工品の収納検査が山形市で行われました。

これは、紅花加工品である「紅餅」と「乱花」、「すり花」の品質を出荷前に検査するもの。町からは、県産紅花生産組合連合会（大内理加会長）に所属する紅花生産者の皆さんなどが、そろいの赤いTシャツに、「日本の紅（あか）をつくる町」のロゴが入ったエプ



心ひとつに平和を祈る 白鷹町平和記念事業

終戦記念日の8月15日、役場庁舎前の平和都市宣言碑前において白鷹町平和記念事業が行われました。

この日は、町関係者など約100人が出席。黙とうに続き、新成人代表の新野悠人さん（広野）と新野由佳さん（横田尻）により平

和都市宣言が朗読され、平和へのメッセージ、献花・折鶴献呈と進められました。続いて、今なお世界各地で続く争いがなくなるようにと、町少年少女合唱団による平和への賛歌が歌われ、出席者一人ひとりが平和への祈りを捧げました。



ロンと手ぬぐい姿で出席しました。今年度の紅花生産量は、県全体で274キ。その内、白鷹町は紅餅129・15キ、乱花47・95キ、すり

花2・6キ、計179・7キを収め、県全体の約6割りを占めました。「日本の紅（あか）をつくる町」は、今年も紅花生産日本一です。

紅餅の検査を行う白鷹町の紅花生産者の皆さん